

令和 4(2022)年度後期の授業等について

【重要事項】

- ・学生、教職員は正しくマスク(不織布マスクを推奨)を着用すること。
- ・建物、教室入り口で手指を消毒すること。
- ・室内の十分な換気を確保するため、対角線上の窓を開けるなどの対策を講じること。
- ・体調不良・発熱等の風邪症状のある者は、対面での授業出席は認めない。
研究室の利用も認めない。

1. 令和 4(2022)年度後期の授業について

本学の方針に従い、感染防止対策を徹底したうえで、対面での授業を中心に行う予定です。ただし、教育効果による理由、および新型コロナウイルスによる影響で、各授業の実施方法が異なります。

「対面」、「遠隔」、「ハイブリッド」の**各授業の実施方法については、シラバス、BEEF 等によりお知らせします**ので、必ずご確認ください。

※学期途中であっても、授業の実施方法が変更される場合があります。随時、シラバスや BEEF 等の確認、および担当教員の指示に従ってください。

※遠隔で実施する授業についても、教室を割当てていますので、大学で受講する場合、教室をアクセスポイントとして利用できます。

2. 院生研究室について

感染予防対策を徹底したうえで、院生研究室の利用を認めます。ただし、以下ルールを守れなかった場合、研究室の使用を禁止することがあります。今後の感染状況によっては、さらに研究室の利用の制限を行うことがあります。

※不要の利用は控え、利用の目的を達成したら速やかに帰宅する。

※利用する際、1階教務係事務室入口の利用簿に、必ず学籍番号、入室及び退室の日時、研究室番号を記入すること。

※利用する際、換気のためドアは常に開放したままとし、窓も雨天時、強風時等以外は原則開放すること。(利用後は窓の施錠を含め、戸締りを確実にすること)

※研究室を同時に利用できる人数は、密を避けるため収容人数の3分の1程度を目安とする。(研究室利用の際に、利用者が多い場合は、各自で時間調整を行い、密にならないようにすること。)

※研究室内の**食事(飲み物除く)及び私語はしない**こと。

2022年9月13日
国際協力研究科